

**製品名: FIG4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10982**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	110kDa

**抗原情報**

遺伝子名	FIG4 KIAA0274 SAC3
別名	Polyphosphoinositide phosphatase (EC 3.1.3.-) (Phosphatidylinositol 3,5-bisphosphate 5-phosphatase) (SAC domain-containing protein 3)
遺伝子 ID	9896.0
SwissProt ID	Q92562
免疫原	ヒト FIG4 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 341-390

**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、SAC ドメイン含有タンパク質遺伝子ファミリーに属します。約 400 アミノ酸長で 7

つの保存されたモチーフからなる SAC ドメインは、ホスホイノシチドホスファターゼ活性を有することが示されています。酵母ホモログである Sac1p は、様々なホスホイノシチドの制御に関与し、アクチン細胞骨格の組織化、ゴルジ体機能、液胞形態の維持など、多様な細胞機能に影響を与えます。膜結合型ホスホイノシチドはシグナル伝達分子として機能し、真核細胞における小胞輸送において重要な役割を果たします。この遺伝子の変異は、シャルコー・マリー・トゥース病 4J 型と関連付けられています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、リン脂質代謝過程、グリセロリン脂質代謝過程、液胞組織化、行動、運動行動、細胞死、死、有機リン代謝過程、ニューロン分化、ホスホイノシチド代謝過程、色素沈着、グリセロ脂質代謝過程、ニューロン発達、

## 研究分野

-

## 画像データ

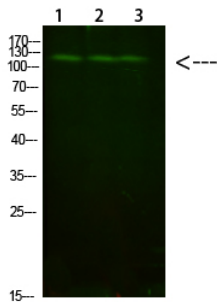


FIG4 ウサギポリクローナル抗体 (1:1000 希釈、4°C、一晩) を用いた 1,マウス肝臓細胞、2,ヘマトクリット細胞、3,マウス脳細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体: ヤギ抗ウサギ IgG IRDye 800 (1:5000 希釈、25°C、1 時間)